



横浜市立富岡小学校

# 学校だより8・9月号



『富小ダイアリー』  
更新中!左のQR  
コードから富小の  
HPへ。

## 一人ひとりの命が光り輝く

～「いのちのまつり（ヌチヌグスージ）」の本を通して～

校長 黒木 英晴

立秋が過ぎた頃、朝夕に過ごしやすかった日が続き、秋が近づいているのだろうかと思ったのも束の間、厳しい暑さが続いています。今日から授業が始まり子どもたちの元気な声が響き始めます。夏休みの40日間の間、学校を離れて様々な体験をしてきたことと思います。事故や事件に遭ったという報告はなかったので安心してしています。これも保護者の皆様、地域の皆様から子どもたちが温かく見守られているという証拠だと深く感謝しております。ありがとうございました。

夏休みに入っすぐの7月28日の夕方、熊本県で震度7という大きな地震が起きました。「令和8年熊本地震」と命名されていますが、この地震で多くの方が被災されました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。また、8月13日には、千葉県を襲った「令和8年8月千葉豪雨」では、多くの方が被害を受けました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともにご被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。横浜においても8月23日の午前2時頃震度4の地震が起き、前日にはレベル4の豪雨がありました。熊本県や千葉県で起きた地震や豪雨は決して他人事ではなく、いつ起きるか分かりません。雨で人が亡くなるということを目の当たりにしました。豪雨の時に、どのように被害を防ぐのか改めて考えさせられました。毎月様々なことを想定して避難訓練を実施しています。9月1日には、103年前の関東大震災が起きた日に総合防災訓練が行われます。富岡小学校防災拠点の代表の方に来ていただきその様子を参観していただきます。改めて子どもたちと地震への備えや豪雨への対応など話題にしたいと思います。

8月8日（土）には、富岡小学校の校庭で富岡西部夏祭りが行われました。毎年参加させていただいていますが、多くの方が参加しとても楽しい時間を過ごしました。お祭りの雰囲気盛り上げてくれて、とみおか連のお囃子演奏、昨年は実施できませんでしたが3・4年生のエイサー、そして5・6年生のソーラン節と100名ほどの子どもたちが参加しお祭りを盛り上げていました。今回、エイサーを披露することとなりましたので、沖縄のエイサーは、他県で行われている盆踊りにあたるということで、踊りの前に「盆踊り」についてその意味を考えてもらおうと「いのちのまつり『ヌチヌグスージ』（作：草場一壽 絵：平安座資尚 サンマーク出版）」という本を紹介させていただきました。お盆というと日本で夏季に行われる祖先の霊を祀る一連の行事です。先祖を自宅にお迎えしてご供養する行事です。この本では、沖縄の自然を表現しながら沖縄のお墓やお盆の様子から主人公のコウちゃんがおばあさんと話をするところから始まります。そして、「ぼくのいのちってすごいんだね。いのちをありがとう～!」という感謝の言葉で締めくくられます。私の記憶では、祖父母まででその前の先祖は知りません。しかし、命がつながってきたことに間違いはありません。地球が誕生して以来つながってきた命に感謝しながら、これからも子どもたちの命が光輝き続けるように職員一同力を合わせて頑張っていきたいと思っています。引き続き、温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。